

資料 4-4
令和3年度第3回
事業評価委員会

三鷹都市計画道路3・4・12号線 (三鷹市北野三丁目～同市北野二丁目)

令和3年10月8日(金)
建設局道路建設部

目次

1. 事業概要	1
2. 社会経済情勢等の変化	4
3. 事業の投資効果	5
4. 事業の進捗状況と見込み等	9
5. コスト縮減等	11
6. 対応方針(原案)	12

1. 事業概要(1)

[全体概要]

路線名：三鷹3・4・12号
 本村井の頭公園駅前線
 区 間：三鷹市新川六丁目
 ～同市井の頭三丁目
 延 長：約4.1km

[今回評価区間]

区 間：三鷹市北野三丁目
 ～同市北野二丁目
 延 長：840m
 幅 員：16m
 事業費：約64億円

年月日	計画等
昭和37年7月26日	都市計画決定
平成24年6月15日	事業認可取得
令和6年3月31日	事業認可期間



1. 事業概要(2)

今回評価区間周辺の概要



同一路線の沿道状況

- 本路線の整備済み箇所はない

事業の効果

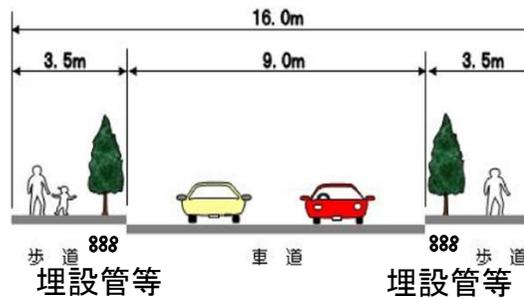
- 東八道路IC (仮称) 周辺において、**交通の円滑化**が図られるとともに、**歩行者の安全性の確保**
- 避難道路としての機能が確保され、**地域の安全性・防災性の向上**
- 電柱のない、緑豊かな歩道を整備することにより**快適で安全な歩行空間、良好な都市景観の創出**

1. 事業概要(3)

平面図



断面図



現況



東八道路付近



吉祥寺通り付近

主な進捗

- 用地取得率が99%
- 搬入路設置工事及び排水管設置工事に着手

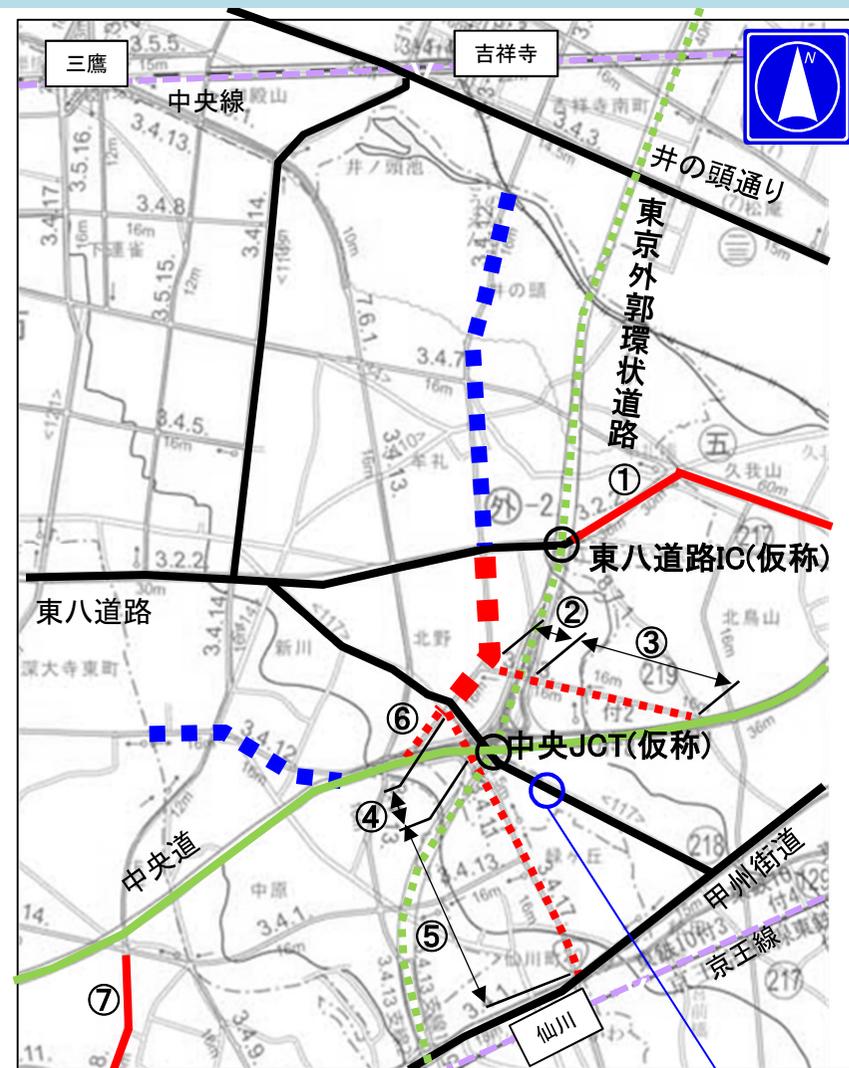
2. 社会経済情勢等の変化

周辺交通の状況

- 本路線周辺の現況交通量（H27年度）は、H22年度と比較して約850台減少

関連する他事業等の状況

番号	地区	着手年度	用地	工事
①	三鷹3・2・2 (牟礼)	H12	100%	実施中 R1交通開放
②	三鷹3・4・3 (北野三丁目)	H25	100%	未実施
③	補助219号線 三鷹3・4・3 (北野一丁目)	R3	0%	未実施
④	三鷹3・4・11 (北野三丁目)	H25	100%	未実施
⑤	調布3・4・17 (緑ヶ丘)	H27	38%	未実施
⑥	三鷹3・4・12 (緑ヶ丘)	H25	100%	未実施
⑦	調布3・4・18 (Ⅱ期)	H28	5%	未実施



凡例	
■	事業中
■ (dashed)	事業中(現道なし)
■ (dashed)	三鷹3・4・12号(現道なし)
■	その他(完成・概成)
■	高速道路等
■ (dashed)	鉄道等

**吉祥寺通り
交通センサス観測地点**
 平成22年度： 7,402(台/12h)
 平成27年度： 6,544(台/12h)

3. 事業の投資効果(1)

定量的効果

【便益(B)の算定】

現在価値化総便益	135.0億円
走行時間短縮便益	118.3億円
走行経費減少便益	14.2億円
交通事故減少便益	2.5億円

【費用(C)の算定】

現在価値化総費用額	49.5億円
工事費	7.9億円
用地費	39.4億円
維持管理費	2.2億円

※費用便益分析マニュアル(国土交通省 平成30年2月)に基づき分析

【費用便益比(B/C)の算定】

$$\underline{B/C = 2.7 \quad (\text{前回} \quad \text{—} \quad)}$$

3. 事業の投資効果(2)

定性的効果

	事項	該当
交通	交通渋滞の解消	○
	物資流動円滑化への寄与	○
	バスの定時性	○
	迂回交通の減少	○
景観	都市景観の向上	○
防災	緊急車両の走行	○
	延焼遮断	◎
	災害時の避難路の確保	◎
	消防活動困難地域の解消	○

	事項	該当
くらし	土地利用の転換・高度化	◎
	交通不便地域の解消	○
	商業・産業の活性化	
	公共施設へのアクセス向上	○
安全	交通事故の減少	○
	バリアフリー化	○
	自転車や歩行者のための空間確保	○
	その他	

※該当欄の◎は次頁以降に概要あり

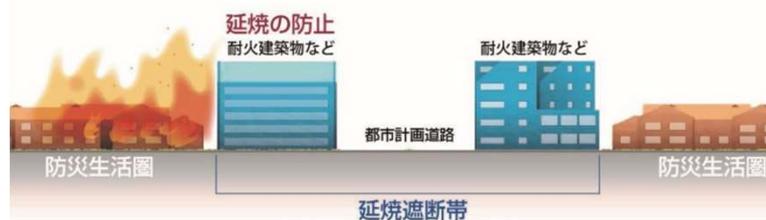
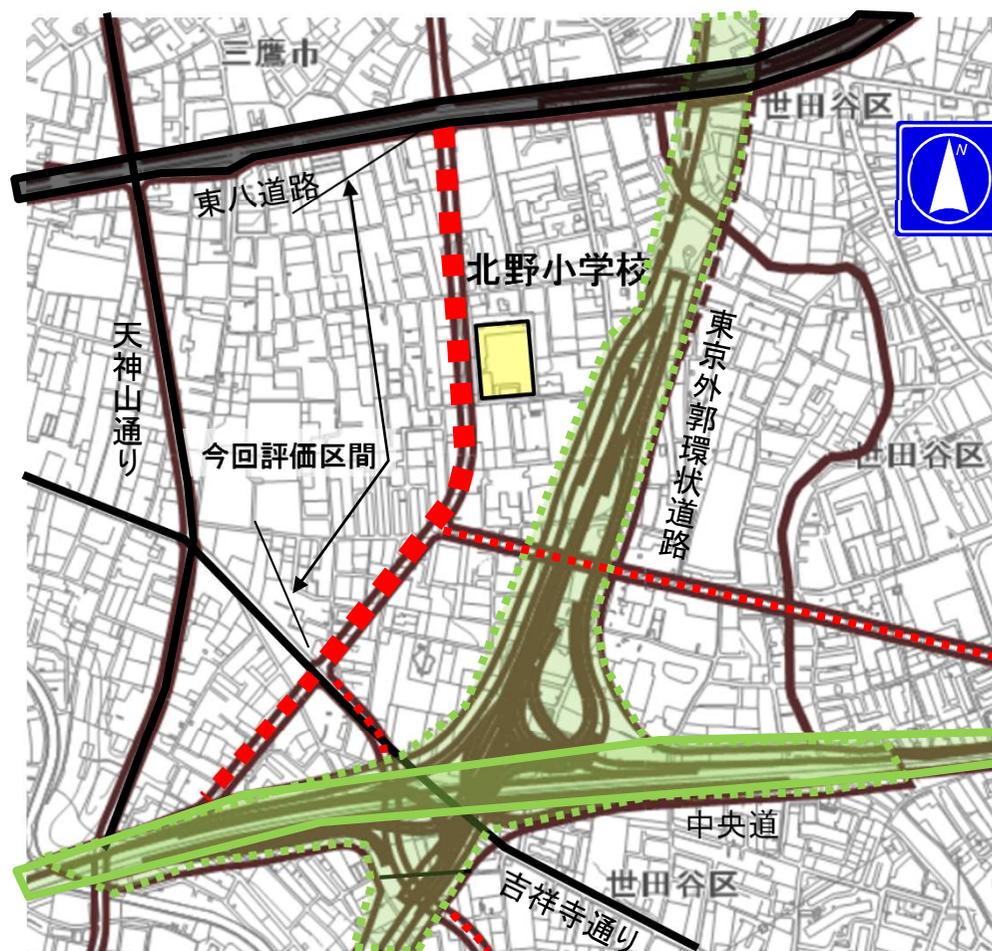
3. 事業の投資効果(3)

＜防災＞延焼遮断 災害時の避難路の確保

- 延焼遮断帯の形成による延焼遮断機能の発揮
- 無電柱化による都市防災機能の強化
- 三鷹市の一次避難所に指定された北野小学校への災害時のアクセス向上、物資輸送の円滑化



北野小学校 西側



延焼遮断帯のイメージ

凡例	
■	事業中
■	事業中(現道なし)
■	三鷹3・4・12号(現道なし)
■	その他(完成・概成)
■	高速道路等

3. 事業の投資効果(4)

<くらし>土地利用の転換・高度化

■ 三鷹市が進めている「北野の里（仮称）」まちづくりに寄与する。

経緯

- H20年度 検討会
- H21年度 東京外かく環状道路対応の方針
- H25年度 まちづくりワークショップ実施
- H27年度 まちづくり方針策定

北野の里（仮称）まちづくり方針

北野地域の将来像と3つのまちづくりの目標を掲げ、それぞれの目標について、具体的に必要なまちづくりの方針などを体系的にまとめた

H30年度 北野の里（仮称）ゾーニング

北野の里（仮称）ゾーニング

「農とみどりの憩いゾーン」など、5つのエリアにゾーニング



今後の予定

・まちづくり整備計画の策定

出典：平成30年8月 三鷹市
「北野の里（仮称）ゾーニング」



「北野の里（仮称）」ゾーニングのイメージ



農・住調和形成ゾーン



農とみどりの憩いゾーン



スポーツ・交流ゾーン

4. 事業の進捗状況と見込み等(1)

事業費の執行状況

(R2年度末時点カッコ内は前回評価時点)

	用地費	工事費	合計
全体事業費(百万円)	5,416(—)	983(—)	6,399(—)
執行済額(百万円)	5,415(—)	167(—)	5,582(—)
執行率(%)	99.9(—)	17(—)	87.2(—)

用地取得状況

取得予定面積 (A)	既取得面積 (B)	用地取得率 (B/A)
11,973m ²	11,972m ² (—)	99.9%(—)

4. 事業の進捗状況と見込み等(2)

一定期間を要した背景等

- 多くの地権者から事業への理解・協力を得られたが、一部地権者からの協力を得られず、用地折衝に時間を要した

残事業の取り組み及び進捗の見通し等

- 用地は99%取得済であり、残る未取得用地についても早期更地化を目指し、折衝を進める
- 用地取得箇所の搬入路設置工事を進め、排水管工事、企業者工事、街路築造工事、電線共同溝設置工事を順次行い、早期完成を目指していく



搬入路設置箇所

5. コスト縮減等

コスト縮減や新工法、事業手法、施設規模等の見直しの可能性

- 一般的な街路築造工事であるため、施工にあたって新工法、事業手法、施設規模等の見直す可能性は極めて少ない
- 無電柱化にあたっては、東京都無電柱化計画（R3.6改定）を踏まえ、新材料等を積極的に活用し、コスト縮減に取り組む



その他のコスト縮減の取組

- 施工にあたっては、建設発生土の再利用や再生材の使用を行っていく

6. 対応方針（原案）

（事業の必要性等に関する視点）

- 交通の円滑化が図られるとともに、歩行者の安全性が確保される
- 避難道路としての機能が確保され、地域の安全性・防災性が向上
- 電線類の地中化、植栽帯等の整備を行うことにより、安全で快適な歩行者空間を創出し、地域の利便性の向上、都市景観・都市空間形成に寄与する

（事業の進捗の見込みの視点）

- 用地は99%取得済であり、残る未取得用地についても早期更地化を目指し、折衝を進める
- 搬入路設置箇所から工事を順次行い、早期完成を目指していく



対応方針（原案） 継続

- 三鷹3・4・12号線は、交通の円滑化、地域の安全性・防災性・利便性の向上、良好な都市景観の創出の観点から、事業の必要性が高く、早期の効果発現を図ることが適切
- 中止の場合は、事業効果を発現できないだけでなく、これまでの投資に見合った整備効果も得られなくなる